2019 第35回 にし人権展　12/6(金)～12/9(月)

場所：西区民センター　　主催／西・大正・浪速・港区役所

人権展は、1983 年の「大浪橋差別落書き事件」を契機に、人権問題の早期解決を願い、1985 年から毎年開催しています。1993 年からは、ふれあいと温もりのある、人にやさしい社会の実現をめざして「人・愛・ふれあいプラザ」を開催しています。2019 年度は「ダイバーシティ～社会でこどもを守りはぐくむ~」をテーマに、人権に関する各種のパネル展示、児童・生徒による人権啓発ポスター・標語の展示、人権啓発ＤＶＤ上映など実施しました。そのほか「えほん展」、「４コマ紙芝居をつくろう」、「きらぽかひろば」など、こども向けのイベントを日替わりで開催しました。また「人権展」及び「人・愛・ふれあいプラザ」には、４日間を通じて約 1,130 名の参加があり、様々な幅広い層の方に参加いただけるよう毎日、講演会などイベントを開催しました。

アンケートでは、「人権について全く知らなかったが理解できて良かったです。これからの生活に役立てようと思います」「講演会や展示はよくありますが、ダンスと合わせたのは初めてで新しい催しでした」など肯定的な感想や意見が多く得られ、部落差別をはじめ様々な人権問題について正しい理解と認識を深める機会となりました。

12 月 6 日(金)

「LGBTQ って何だろう？」
～みんな違う人間。でも同じ人間～
岸本　誠さん
(大津市 LGBT 啓発推進アドバイザー)

「スマホ・ネットの現状と対策」
～子どもたちをネット被害者にも加害者にもさせないために～
竹内　義博さん
(一般社団法人 ソーシャルメディア研究会 チーフ技術指導員)

「未来を紡ぐ！子どもたちに笑顔を」
～相談事例をふまえて～
水流添　綾さん
(一般社団法人 こもれび 代表理事)

12 月 8 日(日)

太鼓集団「怒」による講演と演奏
「太鼓の町」浪速で誕生した「怒」。成り立ちについての講演と演奏

なくそう貧困。命の水を！アジアンフェスティバル
アジア友の会専務理事兼事務局長　村上 公彦さんによる講演とインド舞踊・ベリーダンス・フラメンコ

12 月 9 日(月)

「外国にルーツをもつ子どもへの包括的支援～支援者に必要な三つの力をのばす～」
金 香百合さん
(HEAL ホリスティック教育実践研究所　所長)

12 月 9 日(月)

「守ろう！こどもの心～そしてまずは大人の心から～」
島田 妙子さん(一般財団法人 児童虐待防止機構オレンジ CAPO 理事長)

「人・愛ふれあいプラザ」12/7(土)

場所：西区民センター　　主催／西・大正・浪速・港区役所

にし人権展の記念事業として、「人・愛ふれあいプラザ」を開催しました。人権落語家 桂七福さんによる講演落語、楽しく歌う♪ふうふ≪ケチャップマヨネーズ？≫による歌と踊りのコンサートを開催しました。

大阪市人権啓発推進員の活動

大阪市人権啓発推進員は、人権問題への深い関心と啓発活動に意欲をもつ方々で、大阪市長より委嘱され、地域において人権啓発活動に取組んでいます。毎年 12 月の人権週間期間に JR 弁天町駅周辺での開催している街頭啓発に参加しています。

差別落書きをしない・させない・許さない

差別落書きは、人の心を深く傷つける悪質な行為で、決して許されるものではありません。差別落書きを発見したときは見過ごさず、ただちに下記連絡先にご連絡ください。

人権にかかわる相談窓口

専門相談員による人権相談
～ひとりで悩んでいませんか？～

〔相談専用電話番号〕
０６－６５３２－７８３０（なやみゼロ）
（FAX　０６－６５３１－０６６６）

大阪市人権啓発
ﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ
にっこりーな

〔平日〕9:00～21:00〔日祝〕9:00～17:30
※土曜日及び 12/29～1/3 をのぞく

大阪市人権啓発相談センター
お問い合わせ先
06-6532-7631（平日 9:30～17:30）

お問合せ・連絡先　港区役所協働まちづくり推進課　☎06-6576-9975　FAX06-6572-9512

港区人権啓発だより

ヒューマンハート

VOl．12
2020．6．

【発行：港区役所／港区人権啓発推進協議会】

人権セミナー「発達に課題を抱える児童生徒の基礎理解と具体的な関わり方」

12月25日（水）　講師：竹田　契一先生（大阪教育大学名誉教授/大阪医科大学LDセンター顧問）

「落ち着きがなく　じっとしていない」、「一言多い　多弁で回りを気にしない」、「こだわりが強い」など、いわゆる「育てにくい子ども」の中には発達障がいを抱える子どもたちもいます。感覚過敏、膨れ上がった感情などによって、一般的に「その場にふさわしくない」行動をとることがあります。親にはその行動の理由がわかっていても、周囲から「育て方のせい」や「しつけがなってない」と理解されないことがあります。

大阪教育大学名誉教授、大阪医科大学LDセンター顧問として、年間数々の講演会を精力的に開催し、ＮＨＫ総合「あさイチ」など、発達障がい特集番組に多数出演されている竹田契一先生をお招きしました。

講演では、主に「広汎性発達障がい（自閉スペクトラム症）」、「学習障害（LD）」、「注意欠陥多動性障害（ADHD）」など、事例をあげながら説明を講演いただきました。講演内容からいくつかを紹介します。

- 子どもの暴言・暴力など、まわりの母親からの冷たい目で見られる。病院などで今後の関わりについて指導してもらうがサポートがない。また家庭では父親が他人事のように聞くだけで、何かあると全て母親の責任になり、母親は保育所・小学校などで孤立しやすくなる。
- 広汎性発達障がい（自閉スペクトラム症）は、その子どもの特性（個性・特徴）であって障がいではない。障がいはその子どもに関わる環境との相互作用で起こる。
- 広汎性発達障がい（自閉スペクトラム症）の特徴は、「ひとの感情、気持ちの理解が弱い」、「言葉のやりとりが困難で一方的」、「行動にこだわりがある」、「大きな音、掃除機、トイレなどの音や、太陽の光や蛍光灯などに敏感になり、吐き気や頭痛、混乱をおこす場合がある」
- 学習障害（LD）の特徴は、知的障がいではないが読み書きに困難を示す。「【っ】【ゃ】【ょ】など小さい文字や【わ】と【ね】、【シ】と【ツ】など似た文字の読み書きを間違える」、「数字の読み書きを間違える」、「文章題を解くことが難しい」、「単位の関係が分からない」など
- 注意欠陥多動性障害（ADHD）の特徴は、「乱雑、衝動的」、「ものごとを先延ばしにする」、「多くのことに同時にできない」、「常に強い刺激を求める」、「退屈さに対する耐性が低い」など

ごあいさつ

港区人権啓発推進協議会
会長　板谷　廣二

平素は港区人権啓発推進協議会の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

1978年の当協議会発足以来、区内各種団体の代表者をはじめとしたみなさまの協力を得て、基本的人権の尊重を理念とする憲法の趣旨に沿い、区民の人権意識の高揚をはかり、人権尊重の明るいまちづくりを目指してきました。

昨年は、12月の人権週間の街頭啓発、ﾚｲﾝﾎﾞｰｶﾌｪ3710の開催など啓発活動を行ってきました。区民まつりの人権啓発コーナーの設置は、残念ながら台風の影響のため中止をしましたが、今年度は引き続き設置する予定です。

また、今年度は、毎年、港・西・大正・浪速区の４区合同で開催している「人権展」「人・愛・ふれあいプラザ」を大正区で開催を予定しておりますので、ぜひご参加いただきたいと存じます。

そのほか区内での人権セミナー開催や人権週間の街頭啓発など実施致します。

多様な人々が活躍できる、ふれあいと温もりにあふれた人にやさしいまちづくりに向け、今後とも地域に根ざした人権啓発活動に取り組んでまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

港区におけるＬＧＢＴ問題についての取組み

港区では、平成 28 年７月に策定した『大阪市港区まちづくりビジョン』に「世代や性別、国籍、文化、障がいの有無などの違いを認め合い、個性と能力が発揮できる社会をめざす」ことを掲げ、多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進に取組んでいます。港区のＬＧＢＴ問題についての取組みを紹介します。

レインボーカフェ3710（みなと）

平成 27 年 10 月から、LGBT 当事者とその友人やアライ（協働パートナー）が、毎月第４火曜日の午後７時から港区民センターで集まり、多様性を生かし力にできるまちづくりを目指し、交流会の開催や区民まつりへの啓発ブースの出展など様々な取組みを行なっています。

※ろう者が参加しているので、コミュニティ通訳者（有償ボランティアの手話通訳者）を配置しています。
※参加希望の方は港区役所協働まちづくり推進課（電話 6576-9975、ＦＡＸ6572-9512）までお問い合わせください。

築港中学校下三校　人権啓発講演会

2019年12月3日に築港中学校で「いろいろな性」についての講演を行いました。港晴小学校５・６年生、築港小学校５・６年生、築港中学校１～３年生と保護者の方、各校の校長先生をはじめ教職員の方、合計約２５０名の方にご参加いただきました。

講演は、レインボー3710のメンバーであるQちゃん（セクシュアリティはゲイ：男性で男性が好き）と私、伊東（セクシュアリティはトランスジェンダー：出生時の性のあり方にとらわれず、自分の生きたい性で生きる）の二人で行いました。

前半はセクシュアルマイノリティの基礎知識　(-LGBTの用語説明や様々な性について-）や、セクシュアルマイノリティの人たちを取り巻く日本の現状について話をし、後半は二人の幼少時代から現在に至るまでの生い立ちや、自身が自分の性に気づいたきっかけ、カミングアウトをした経験などをお話ししました。

普段の授業よりも長い時間でしたが、みなさん集中して聞いてくれていました。感想文では、色々な性があることを知ったという内容や、悩んでいる子がいたら助けてあげたいというような肯定的な内容が多く、これから多くの人と関わり始める時期に、性の多様性についての知識を深めていただける機会があり、とても嬉しく思います。

（伊東カナト）

≪参加者の感想紹介≫

・いろんな人がいることが分かりました。そして、そのなかには生きづらさを感じている人もいることを知りました。私は生きづらいと感じている人も、生きやすいと感じてもらえる世の中にしたいと思いました。
・一人で抱え込む子を少しでも減らすため、LGBTへの偏見をなくしたいなと思った。
・今まで自分の周りでそんな話を聞いたことがなかったので、ほんとうに存在するのかな？って思っていたけど、もしいたとしても、周りに広まっていなかっただけなのかもしれないと思いました。
・知らないうちに、誰かを傷つけてしまっていたら、いやだなと思いました。
・「性的少数者だから〇〇」といって決めつけるのは良くない。いろんな人がいる。もし誰かから秘密を打ち明けられたら、そっと寄り添って、優しくしようと思った。

「LGBT×アライ交流会」

2019 年 12 月 7 日（土）19 時よりゆめホーム「ゆめ」かなえる港区民センターで「LGBT×アライ交流会」を開催しました。

毎年、この時期らしい、年末やクリスマスの話をみなさんとするだけでなく、自身のセクシュアリティ（性のあり方）についての話や、LGBT に関わる話題の意見交換をしています。レインボー3710（みなと）では、1 年に 1～2 回のペースで交流会を開催しています。興味がある方はどなたでも参加 OK ですので、参加してみてください！〈Q ちゃん〉

LGBT 映画上映＆講演会を開催しました。

「わたしらしく　あなたらしく～多様な性を生きる～」レインボー3710 主催

2020 年 1 月 25 日（日）ゆめホーム「ゆめ」かなえる港区民センター

上映映画:「わたしらしく　あなたらしく」世界人権宣言大阪連絡会議製作（全編字幕付）

映画の内容は、当事者ひとりひとりに自分の経験や思っていることをインタビュー、2015 年に起きた※一橋大学アウティング事件により広まった人権問題のこと、大阪市にも導入されているパートナーシップ制度についてなど、とてもわかりやすい内容でした。

講演会では、上映した映画にも出演されている定政輝（さだまさ　ひかる）さんより、LGBT の基礎知識や生い立ち等、ご自身の体験を含め、幅広く講演していただきました。（手話通訳付き）　（大祐）

※一橋大学アウティング事件：一橋大学院の院生がゲイであることを同級生からアウティングを受け、学内の相談室に相談したが、性同一性障がいのパンフレットを渡されるなど不十分な対応で精神状態が悪化し、校舎から飛び降り自殺した事件。翌年、遺族の方が提訴しました。この事件をきっかけに、世間に「アウティング」ということが認知されるようになりました。2019 年 5 月にパワハラ防止を義務付ける関連法が可決され、SOGI（ソジ）ハラとアウティングの防止も盛り込まれました。

LGBT は特定の「人」を指す言葉ですが、すべての人がもつ性のあり方の多様性に焦点をあて、性的指向と性自認（Sexual　Orientation　and　Gender　Identity）の頭文字をとって SOGI（ソジ）という言葉が使われることもあり、その多様性を互いに認め合うことが大切です。

LGBT 支援団体　Rainbow Create　代表　定政 輝さん　より

私は講演会のゲストとして、奈良レインボーフェスタの共同代表であり、パートナーの河崎桃子と一緒にお招きしていただきました。私は奈良県在住で大阪市内に通勤しています。産まれた時の性は女性で、心の性は男性と自認してきたトランスジェンダーです。３年前の夏に国内にて、性別適合手術を受け、戸籍上の性別を女性から男性に変更しました。この講演会の中で自分自身が幼少期経験してしんどかった事や、カミングアウトの経験、カミングアウトされた時にどうすればいいのかなどを、事例と共にお話しさせていただきました。

アンケートの中には、「当事者の親ですが、受け入れようと理解しようと努力している途中です。」と書いていただいた方や、講演会終了後には、手術や治療の事など普段中々聞けない事が相談できて良かったと涙を流しながら勇気を持って話しをしてくださった方がいました。

自分自身も、20 歳の時に母親にカミングアウトした時に、受け入れてくれるかすごく不安だった事、今でも家族の支えがあるおかげで、活動などを行うことができていることを、すごく感謝しています。当事者にとって、家族や友人、職場の人や学校の先生など身近な存在の支えや理解がとても大きい力となります。まずは多様な性があること、みなさんの身近にも悩んでいる人が存在している事を知っていただけたらと思います。そして、何か出来る事はないか考えてみるきっかけの一つとなれば幸いです。

○参加者の声（一部）○

・LGBTQ などカテゴリーにあてはめることなく、「ひと」として「ひと」と共生できる私でありたい。
・初めて LGBT の話を聞きました。具体的な声が聞けて良かったです。
・異性が好きになることが当たりまえでなく、“好きになった人が好きが一番です“。その人が幸せだったらそれで良いと思います。
・ここで得た知識をどのように教育現場で生かしていくか。教育者として１つの課題だと考えさせられました。

○レインボーカフェ 3710 メンバーの声○

港区だけでなく大阪府内や近畿各地からの参加者がおられました。理解が少しずつ深まってきているので、今後も活動を続けていきたいです。